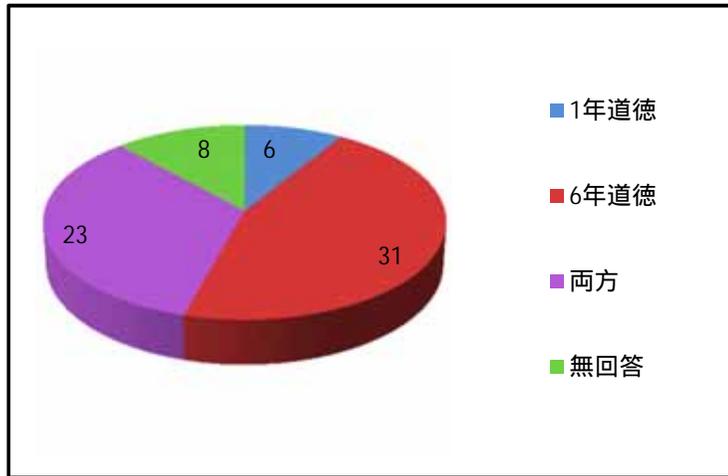


# I C T 教育セミナーin藤の木（広島市）

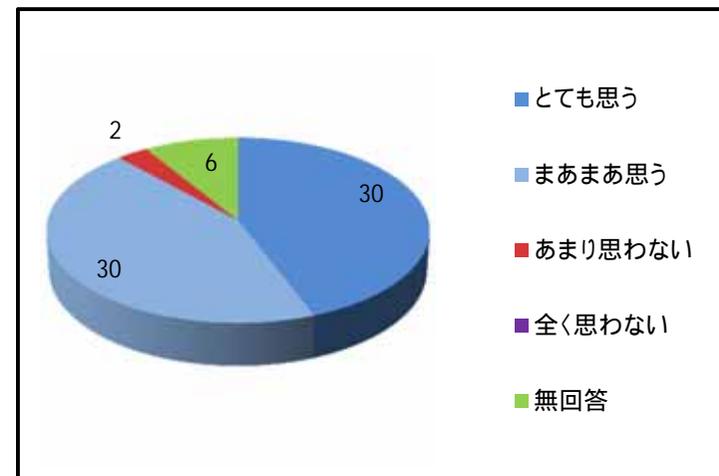
～ 来場者アンケート取りまとめ～

開催日時	平成28年2月5日(金)
来場者数	120名
アンケート回答数	69件 (回収率58%)

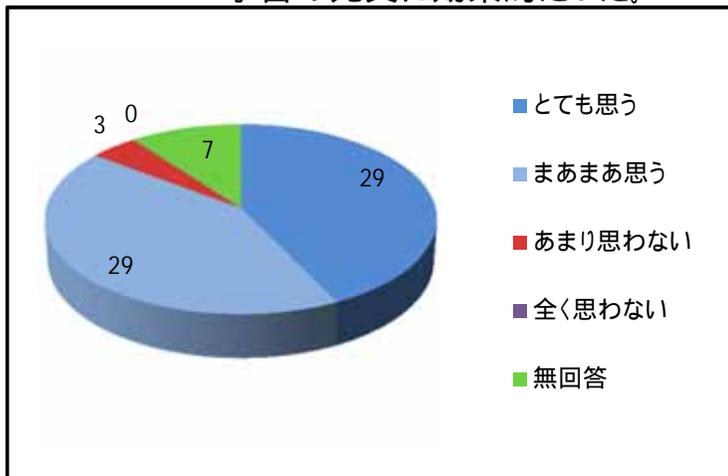
【公開授業】 参観した授業



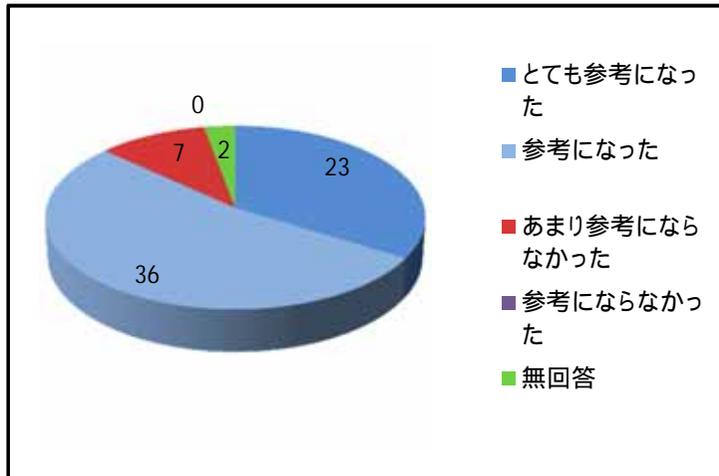
【公開授業】 ICT機器が効果的に活用されていた。



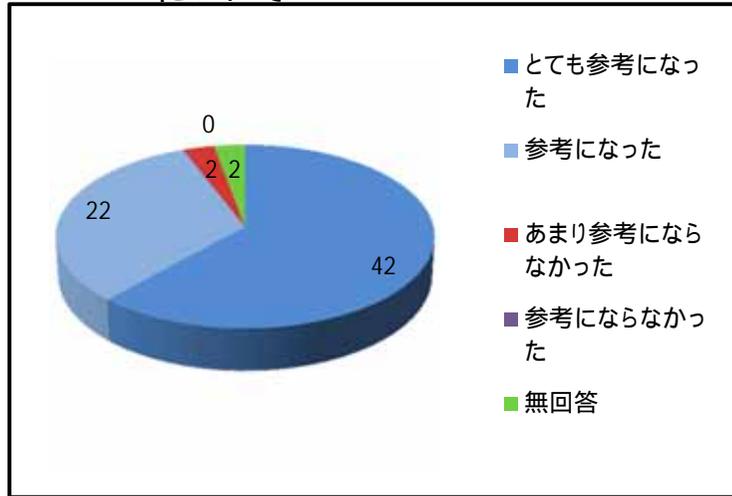
【公開授業】 「書く」活動を位置付けたことは協働学習の充実に効果的だった。



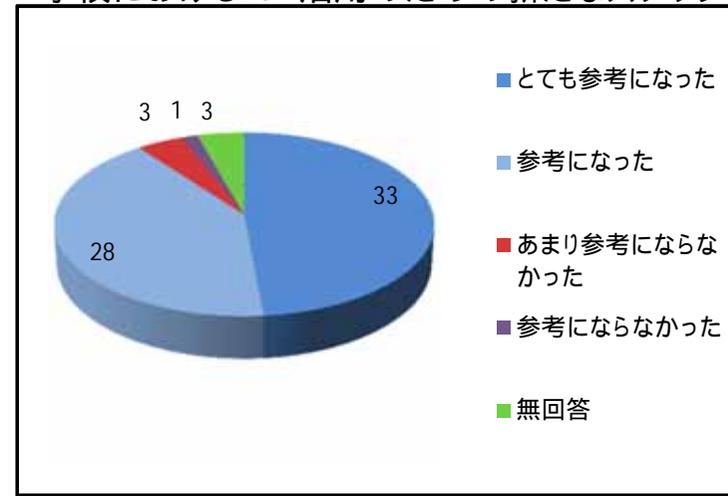
【講演1】 「教育の情報化の動向」について



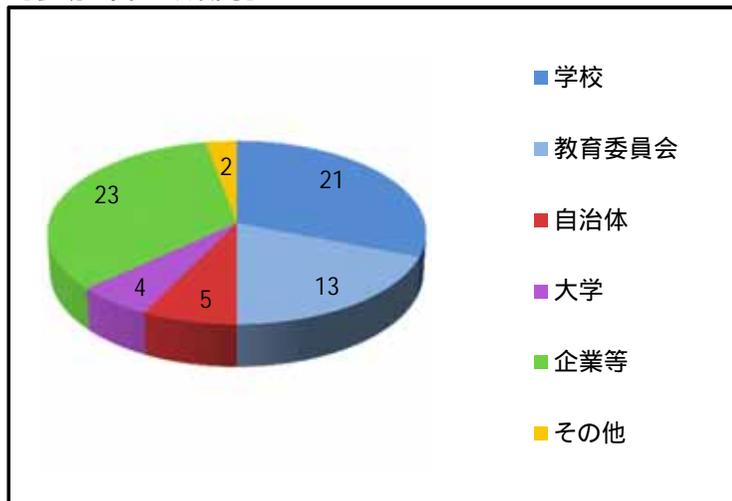
【講演2】「次期学習指導要領の方向とICT活用」について



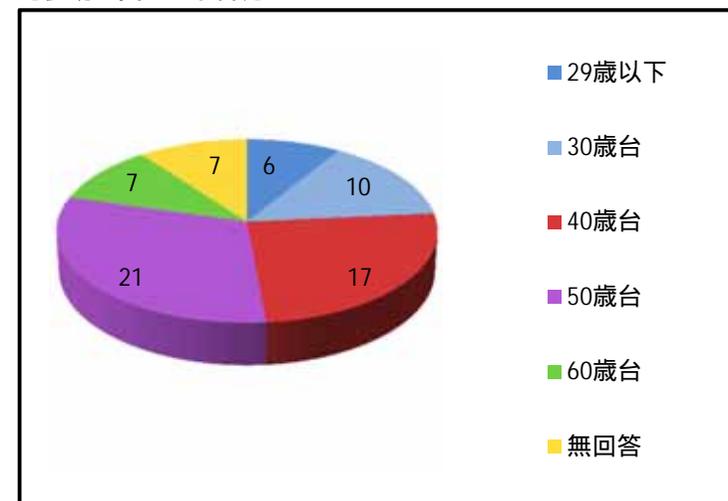
【パネルディスカッション】「学校におけるICT活用のための新たなステップ」について



【参加者の所属】



【参加者の年齢】



## いただいた主なご意見(自由記述)

### 第1部 公開授業に関して

- ・子どもたちがTPCの使い方に慣れていて驚いた。また、電子黒板に個人のページが映し出されるので、わかりやすく、学びが深まると思う。子どもたちが素直で表情も豊かに学習に取り組んでおり、ほほえましかった。
- ・デジタルとアナログを自然に融合されていたことが印象に残りました。授業規律がしっかりしているため、役割演技や発言等も充実すると思いました。貴重な授業を参観させていただき、ありがとうございました。
- ・一人一台タブレットを持っていて驚きました。また、タイピングの速さにもびっくりしてしまいました。
- ・電子黒板やタブレットだけでなく、これまでの黒板も並行して活用することで、まったく新しい授業ではなく、効果的だと感じた。
- ・子どもがタブレットになじんでうまく使っていると感じた。タブレットの使い方も資料を見る、ペンで書く、キーボードで入力と使い分けているところが良いと思った。一方、ネットにつながらなかったり、目的の画面が出ないという小さいトラブルに対応するサポート役の人が必要ということもわかった。
- ・6年生の道徳で児童がとても発表していたので感心した。児童のタブレットPCの使用場面を限定して授業の中で無理なく使っていた。
- ・道徳でICTを使うということで、どのように使われるのかなと思いながら見させていただきましたが、実際に音を出したり、身近にある看板の写真などを効果的に使われており、参考になりました。
- ・「書く」活動は自分の考えを整理したり、もったりする際とても重要なことだと思います。それを6年生ではキーボードで打っていたので驚きました。
- ・TPCの使用時間が短いことにおどろいたが、非常に効果的に感じた。IWBの利活用の参考になった。児童の「書く」「考える」「教え合う」を学ぶことができた。非常に密な45分でした。

### 第2部 後援および全体を通じて

- ・ICTを使いこなすことは子供の学びを深めるとも良い教材だと思いました。しかし、藤の木小学校でここまで効果がでているのは基本となることを研修などできっちりされているからだと分かりました。規律あってこそこの効果ということをおぼろげに忘れることなく、今後につなげていきたいです。ありがとうございました。
- ・ICTを活用するためには、現行の教育内容の充実という観点から「学び方」アクティブラーニングを実現するための手段としてとらえることの必要性が理解できた。
- ・パネルディスカッションでは、各県の現状と今後の課題がよくわかった。
- ・官民学、どの程度の割合なのかわかりませんが、このようなセミナーであればそれぞれの立場での意見交換や推進体制について考える機会があれば嬉しい。
- ・便利だから使うICTから、協働して深める、ひらめく、広げる、高めることへのICT創造革命へと発展すると思いました。
- ・具体例で示していただいたケースは説得力があった。大学、地域の間をもっと活用するべき。教委・学校だけでやるのは限界
- ・若い教員がベテラン教員と共に授業について学び合える体制があるのはとても素晴らしいと思います。研修の重要性を再確認できました。ありがとうございました。